

神奈川県のアレルギー疾患対策に係る取組状況等

(1)施策	(2)平成 30 年度内容・実績	(3)令和元年度取組予定	(4)所管
1 (1) 啓発及び 知識の普及	①ホームページによる情報提供 ②アレルギー疾患対策講演会開催 「アレルギー疾患の最新知識と上手な医療機関のかかり方」 (平成 31 年 3 月 2 日開催 参加者：136 名) ③リーフレット作成・配布 「アレルギー疾患の基礎知識」	①ホームページによる情報提供 ②講演会の開催 (令和 2 年 2 月頃開催予定) ③リーフレット配布 (市町村等を通じて配布)	健康医療局
1 (2) アレルゲン 等を軽減す るための 取組み	食品事業者に対するアレルギー表示に関する相談・指導等 卵の表示がない加工食品 20 品目中の卵アレルゲンの検査を実施した。品目は以下のとおり。 検査結果はいずれも定量限界値 1 μ g/g 未満であり、卵アレルゲンは検出されなかった。 <各種加工食品> ・容器包装詰加圧加熱殺菌食品 4 品目 (カレー、おかゆ等)、穀物加工品 3 品目 (パン、焼きそば麺等)、菓子及び菓子原料 3 品目 (ゼリー等)、魚肉練り製品 3 品目 (ちくわ、フィッシュソーセージ等)、包装後加熱食肉製品 1 品目 (ミートボール)、調味料 1 品目 (マスタード)、その他の食品 5 品目 (ドレッシング、パスタソース等)	食品事業者に対するアレルギー表示に関する相談、指導等 加工食品のアレルゲン検査 (乳の表示のない食品 20 品目)	健康医療局
	花粉対策 ①県内スギ林の着花量調査を行い、結果を知事会見で発表 (平成 31 年春のスギ花粉飛散量はやや多い、12/27) 県内ヒノキ林の着花量調査を行い、結果を記者発表 (平成 31 年春のヒノキ花粉飛散量は少ない、1/25) ②ヒノキの花粉飛散量の調査予測手法の検討	①ヒノキの雄花着花量調査、スギ・ヒノキの着花量調査、花粉飛散量の調査と県民への情報提供 ②ヒノキの花粉飛散量の調査予測手法の検討	環境農政局

(1) 施策	(2) 平成 30 年度内容・実績	(3) 令和元年度取組予定	(4) 所管
	<p style="text-align: center;">花粉対策</p> <p>①花粉発生源となっているヒノキ林の伐採・搬出・植栽等 2.52ha</p> <p>②小花粉及び無花粉スギ、花粉の少ないヒノキの種子生産を実施</p> <p>③無花粉ヒノキ「神奈川無花粉ヒ1号」を農林水産省へ品種登録出願(全国初)</p> <p>④無花粉スギ・ヒノキ、飛散予測について学会・研究会等発表(4件)、その他報告(2件) NHK等の番組出演 県の無花粉スギ、ヒノキの花粉症対策の取組の講師派遣(NPO団体等11件)</p>	<p>①県有林において、花粉発生源となっているスギ・ヒノキの伐倒・搬出等を行うとともに、花粉症対策苗木の植栽を行う。</p> <p>②花粉の少ないスギの着花促進と林業用種子の安定確保</p> <p>③少花粉スギ・ヒノキ及び無花粉スギの優良品種検証</p> <p>④無花粉スギ苗木の効率的生産と無花粉ヒノキの実用化検討</p>	
<p>1 (2) アレルギー等を軽減するための取組み</p>	<p style="text-align: center;">大気環境対策</p> <p>①自動車からの窒素酸化物及び粒子状物質の排出量算定調査及び交差点近傍における大気汚染状況の簡易測定</p> <p>②微小粒子状物質の発生源解析や生成機構の解明に向けて、成分分析の調査委託、分析機器のリース設置</p> <p>③ディーゼル規制に係る検査・指導、制度周知等</p> <p>①大気汚染物質を常時監視するため、大気汚染監視用機器及び大気環境測定局舎の更新、保守管理、修繕</p> <p>②微小粒子状物質等を常時監視するため、大気汚染監視用機器のリース設置</p> <p>更新実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化硫黄自動測定機 1 台 ・微小粒子状物質自動測定器 1 台 ・PM2.5 サンプラー 4 台 ・窒素酸化物自動測定器 4 台 ・風向風速計 3 台 ・大気環境測定局舎 1 基 <p>リース実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微小粒子状物質自動測定機 11 台 ・風向風速計 3 台 	<p>①自動車からの窒素酸化物及び粒子状物質の排出量算定調査及び交差点近傍における大気汚染状況の簡易測定</p> <p>②微小粒子状物質の発生源解析や生成機構の解明に向けて、成分分析の調査委託、分析機器のリース設置</p> <p>③ディーゼル規制に係る検査・指導、制度周知等</p> <p>①大気汚染物質を常時監視するため、大気汚染監視用機器及び大気環境測定局舎の更新、保守管理、修繕</p> <p>②微小粒子状物質等を常時監視するため、大気汚染監視用機器のリース設置</p>	<p style="text-align: center;">環境農政局</p>

(1)施策	(2)平成 30 年度内容・実績	(3)令和元年度取組予定	(4)所管
1 (3) 生活スタイル改善のための取組	①卒煙サポートセミナー・連絡会 1回 参加者 31人 かながわ卒煙塾 全6回 各保健福祉事務所における相談、企業等での教室、関係者への研修 ②未成年者の喫煙防止のための児童、中・高・大学生向けリーフレットの配布 高校への禁煙教育の講師派遣 ③受動喫煙防止条例の周知徹底 事業者戸別訪問 延べ8,133施設 県民向けイベント実施	①卒煙(禁煙)サポート (セミナー3回予定) その他に相談、教室等を実施 ②未成年者の喫煙防止対策 ③受動喫煙の防止 事業者指導等	健康医療局
2 医療を提供する体制の整備	①「神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院」の選定(2病院) ②「神奈川県アレルギー疾患対策推進協議会」の設置及び開催 (11月開催)	「神奈川県アレルギー疾患対策推進協議会」における対策の検討 (7月11日及び全2回予定)	健康医療局
3 (1) 患者に関わる者の人材育成	①食物アレルギー・緊急時対応研修 全3回 参加者 617名 ②アレルギー疾患対策に係る関係職員研修 全2回 参加者 257名 ・アレルギーの知識と災害時の備えと対応 ③小児保健研修 ・こどもの食物アレルギー ・乳幼児のスキンケア 全1回 参加者 48名	①食物アレルギー・緊急時対応研修 (4回予定) ②アレルギー疾患対策に係る関係職員研修 (2回予定) ③小児保健研修 (1回予定)	健康医療局
	保育エキスパート研修 食育・アレルギー対応研修 全6回 修了者 532人	保育エキスパート等研修 食育・アレルギー対応研修(研修全8分野のうちの1つ) (6回予定)	みらい子ども局
	①食物アレルギー・緊急時対応研修 対象：幼・小・中・高・中等・特別支援学校の教職員、学校保健関係者等 全2回 参加者 計471人 ②新採用学校栄養職員研修 学校給食におけるアレルギー対応 全2回 参加者 17人 ③学校栄養職員経験者研修 食物アレルギーの対応について 1回 参加者 42人	①食物アレルギー・緊急時対応研修 (2回予定) ②新採用学校栄養職員研修 (2回予定) ③学校栄養職員経験者研修 (1回予定)	教育局

(1) 施策	(2) 平成 30 年度内容・実績	(3) 令和元年度取組予定	(4) 所管
3 (1) 患者に関わる者の人材育成	<p>研修用エピペントレーナー等貸出 貸出先数 58、貸出本数 1, 141 本</p> <p>食物アレルギー・緊急時対応マニュアルを、県学校保健連合会と協力し、1000 部作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー・緊急時対応研修会、要望に基づき校内研修資料として配布 <p>ホームページ掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における食物アレルギーへの対応ページに、「食物アレルギー・緊急時対応マニュアル」、「アナフィラキシー個別対応マニュアル（標準例）改訂版」の掲載 	<p>校内研修用エピペントレーナー等貸出</p> <p>食物アレルギー・緊急時対応マニュアル作成</p> <p>ホームページによる情報提供</p>	教育局
3 (3) 災害時の対応	<p>(再掲)</p> <p>アレルギー疾患対策に係る関係職員研修 全 2 回 参加者 257 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの知識と災害時の備えと対応 		健康医療局
その他	<p>研究実施</p> <p>アレルギー免疫療法の奏効性予測のための新規評価系確立を目指し、その有用性を他の評価法と比較することを目的としている。</p> <p>近年開発された超高感度アレルギー試験法 EXiLE 法で用いる、RS-ATL8 細胞を応用した新規培養細胞株の構築を目指し、ラット細胞株にリポフェクション法を用いて遺伝子を導入することに成功した。得られたクローンはいずれも発現量、機能性共に良好であるほか、長期保存可能な安定発現細胞であることを明らかにした。</p>	指定研究「アレルギー免疫療法の奏効性予測のための新規評価系の確立」の実施	健康医療局